

知床世界自然遺産における長期モニタリングの検討について

1 モニタリング表について

これまでの科学委員会での議論(資料3-1)を踏まえ、モニタリング表(資料3-3)について、次のとおり整理した。

- ・遺産管理のために行っているものと、他の目的で行っているものを整理
 - 他の目的で行っているものは網掛け
- ・モニタリング調査と、基礎的な統計資料を整理
 - モニタリング調査には「評価指標」と「評価基準」を記載

1 モニタリングの評価項目

世界自然遺産として登録された基準

- 項目1 特異な生態系の生産性が維持されていること
- 項目2 海洋生態系と陸上生態系の相互関係が維持されていること
- 項目3 遺産登録時の生物多様性が維持されていること

世界遺産委員会決議で要請されていること及び科学委員会で重要とされていること

- 項目4 遺産地域内海域における海洋生態系の保全と持続的な水産資源利用による安定的な漁業が両立されていること
- 項目5 河川工作物による影響が軽減されるなど、サケ科魚類の再生産が可能な河川生態系が維持されていること
- 項目6 エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと
- 項目7 レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること
- 項目8 温暖化(文言については、現在事務局で整理中)

2 各評価項目におけるモニタリング項目

(1) 項目1：特異な生態系の生産性が維持されていること

- ・海洋環境の変動把握
- ・主要魚介類の資源動態把握
- ・根室海峡におけるスケトウダラ個体群の動態把握
- ・トド個体群の動態把握
- ・アザラシ類個体群の動態把握

(2) 項目4：遺産地域内海域における海洋生態系の保全と持続的な水産資源利用による安定的な漁業が両立されていること(海域管理計画の目的)

- ・海洋環境の変動把握
- ・根室海峡におけるスケトウダラ個体群の動態把握
- ・トド個体群の動態把握
- ・アザラシ類個体群の動態把握
- ・サケ科魚類生息状況の把握
- ・海鳥類生息状況の把握
- ・海洋汚染調査